

夢育で・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 議事要旨

会議名	第 4 期夢育で・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第 10 回）
日時	令和 5 年 6 月 22 日(木)18 時 30 分～20 時 30 分
出席	山中 ゆう子、米原 立将、段城 孝彦、大橋 暉弘、千頭和 正巳、永田 ゆかり、平野 静香、小松 佳世子、坂下 香澄、景山 千鶴子、佐藤 米子、伊東 祐也、千葉 優和子、横内 幸子、伊藤 梓、大河原 鳳臥、葛野 智哉、松村 咲 [事務局] 矢ノロ子ども家庭部長、杉浦子育て推進課長、平川、江利 守屋子ども家庭支援センター長、竹内子ども育成課長、 加藤保育課長、江頭保育振興担当課長
欠席	安部 芳絵、小畑 くるみ、畔田 世紀子、神田 恭司、山中 咲、栗原 一雄、鈴木 正明、松本 零、石田 千紘
配布資料	第4次 夢育で・たちかわ子ども 21 プラン推進のための提言 各課回答シート 令和5年度のスケジュール 夢育で・たちかわ子ども 21 プラン推進会議委員名簿 「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」チラシ
会議場所	立川市役所 302 会議室

1. 辞令交付

大橋委員、永田委員、景山委員に辞令交付（山中（咲）委員、神田委員は欠席）。

2. 第4次夢育で・たちかわ子ども 21 プラン推進のための提言」への回答について（報告）

（1）事務局（子育て推進課）から、4/11 に会長と坂下委員が市長、副市長と面会し、懇談を行ったことを報告。

（2）会長と坂下委員から懇談の様子について追加説明。

（3）事務局（子育て推進課）より、提言の内容について担当課に照会し、回答を得たことを報告。

（4）委員からの意見・感想等

① 提言1について

- ・ プレーパークについて地域の活動を支援するにとどまっている点が物足りない。現状、場所の確保や道具の保管、プレーリーダー等の謝礼など課題は多い。
- ・ 全部型地域福祉アンテナショップの役割について知りたい。
- ・ 学校での子どもの居場所について、こども基本法の趣旨を踏まえた対応として、具体的にはどのような取り組みが考えられるか。
- ・ 中学生の主張大会を意見表明の場として活用してほしい。
- ・ 令和8年度までに拡充型放課後子ども教室が市内全小学校に導入されるのは評価できる。
- ・ 市が協力している様子がわかってよかった。

② 提言2について

- ・ ヤングケアラーの認知度を上げる取り組みも必要だが、当事者が気づく機会を作ることも必要。
- ・ ヤングケアラーの早期発見、相談窓口の案内を。

- ・ 「地域福祉アンテナショップ」の開設日、開設時間について知りたい。どのような方に利用されているのか。小中学生等の子どもの利用はあるのか。
- ・ 子ども会に入る家庭が少なくなっているが、現在の支援と今後の方向性について知りたい。
- ・ 事務局(子ども育成課)より、資金面での支援、会場提供の支援、広報面での支援等を紹介。
- ・ 子ども会だけの問題ではなく、自治会の問題も含まれている。
- ・ スクールソーシャルワーカーの増員により従前から変わった点、成果があれば知りたい。
- ・ 快適な読書環境に加えて、第2、第3の居場所としての図書館を検討してほしい。
- ・ 図書館の夜間開館を夜10時までできると、高校生や若者は使いやすい。
- ・ 児童書のコーナーの開館時間が午後5時までなので短い。小学生向けの席が増えるといい。

③ 提言3について

- ・ 妊婦サポート面接を受けている人は、全体の何パーセントくらいか。受けていない方はどのような事情が考えられるか。また、健康推進課と子ども家庭支援センターとの連携について知りたい。
- ・ 事務局(子ども家庭支援センター)から、令和7年にできる複合施設、現在の連携の取り組みについて説明。
- ・ 市の療育についての取り組みを知りたい。
- ・ 事務局(子ども家庭支援センター)から医療機関につなぐ入り口の相談に応じていると説明。
- ・ こんにちは赤ちゃん事業でアウトリーチができているので、その後もアウトリーチができればよい。
- ・ 以前住んでいた自治体では、健診の際に同じ月齢の親子でつながる機会があったが、立川市ではなかった。
- ・ 幼稚園や保育園の園庭開放を進めてほしい。
- ・ 事務局(保育振興担当)から、コロナ禍では園庭開放をとりやめていたが、今は決まった時間帯や曜日で開放しており、専門職のアドバイスを受けたり、子どもの育ちのイメージをつかめるので、活用いただきたい旨説明。
- ・ 児童館について、学校の長期休業中お昼の時間に外へ出なければいけなくなっている。一番暑い時間帯なので心配。
- ・ 事務局(子ども育成課)から、現状館内整理等で閉めているが、今はランチタイムの開放を始めたので活用いただきたい、また、利用しやすい児童館に向けて検討したい旨説明。

④ 提言4について

- ・ コミュニティスクールについて、「学校と地域・産業界・諸機関等との連携は着実に広がっている」とあるが、具体的な広がりについて知りたい。
- ・ コロナ禍で地域の方が学校に入れなかったことは事実で、その間も学校は工夫して地域との連携を模索していた。学校が地域に期待していることもあり、地域の方も学校に目を向けておられるので、今後は学校と地域の連携が深まっていくと思う。
- ・ 地域学習館での講座が充実していると、子どもの習いごと等にもつながるので期待している。

⑤ 提言5について

- ・ 子どもの権利条例の制定について、現時点では予定がないとの説明が消極的。
- ・ 事務局(こども家庭部長)から、今回の提言は第4次プランの範囲での議論であり、現在のプランでは条例制定について明記していないことをご理解いただきたい。そのため、次の第5次

では協議検討をしていく旨説明。

⑥ その他

- ・ 国が進める「こども誰でも通園制度」について質問。
- ・ 事務局（保育課）から、現時点では待機児童の状況を見ながら、実行のタイミングを探っていきたいと説明。
- ・ 仕事と子育ての両立の観点から、PTA 活動のあり方についても検討していただきたい。

3. 今年度の推進会議について

事務局（子育て推進課）より、①子ども施策についての国や都の動き、②推進会議委員改選により公募委員の募集、③並行して団体推薦を依頼、④次期プランに向けた市民意向の調査について説明。

4. その他

（1）委員からの報告

- ・ 坂下委員より、チャイルドラインの受け手養成講座の紹介および活動報告、プレーパークのお知らせ。
- ・ 景山委員より、たまがわ・みらいパークでの夏休みに予定しているイベントの紹介。

（2）事務局からの連絡

- ・ 「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」で聞き手となる委員の募集。
- ・ 中学生の主張大会の委員の募集。